



University
of Exeter

研究協力者の募集

研究プロジェクト名：

学部過程における翻訳・通訳・言語教育の交差についての一考察：
教員養成のためのマルチメソッドによる質的研究

研究従事者氏名：セリーヌ・ガーブット

倫理審査申請 ID：8764057

目次

1. 本研究ご協力のお礼	2
2. 本研究への参加期間とご協力いただきたいこと	2
3. インタビューについて	2
4. インタビュー内容の公開について	3
5. 研究協力者の匿名性を守るために	3
6. 研究協力者のデータアーカイブとは	4
7. 研究協力者のデータアーカイブを行う理由	4
8. 本研究助成について	5
9. 研究従事者について	5
10. 本研究への参加意義	6
11. 本研究協力者の人数	6
12. 本研究のレビュー協力者	6
13. 本研究参加に関するご質問やご要望など	6

研究協力者の情報

1. 本研究ご協力のお礼

本研究は、大学院博士過程における研究活動です。言語、翻訳、通訳教育が学部教育においてどのように交差しているかをテーマとし、みなさんのようなエキスパートが、学部レベルにおける言語教育や学習方法についてどのように考えているかを明らかにすることを目的としています。

何を、どのように、そしてなぜ変える必要があるのかを知るためには、現場にいるみなさんの声が非常に大切です。さらに本研究にご協力いただくことで、この分野の専門家と繋がり専門知識を共有し合えるだけでなく、プロジェクトの枠を超えて議論をさらに深めることができます。

[目次に戻る](#)

2. 本研究への参加期間とご協力いただきたいこと

研究協力者には、全三回にかけて行われるインタビューにご参加いただきます。一回目と三回目のインタビューは一般的な形式で行われ、二回目に実施されるインタビューでは「ヴィネット方式」を用いた教育にまつわる架空の状況を設定した、いくつかの質問にご回答いただきます。二回目のインタビューは、より会話形式となるように設計されています。本研究への参加は合計 6~7 時間となり、参加にご同意いただいた時点から約 5~6 か月にかけて行われます。参加期間の一部は、インタビュー外で行われる研究にまつわる質問に答える非公式の会話、インタビュー時間の調整、研究協力者のインタビュー音声の書き起こしと収集データの確認などに当てられます。

3. インタビューについて

研究協力者のデータ収集作業は計三回にわたり行われます。

- a. 一回目のインタビュー：あらかじめ研究従事者側で準備していた質問にお答えいただく会話形式のインタビューです。研究協力者の自由な意見を詳しく求めるオープンクエスチョンとなっています。インタビュー時間は約一時間を予定しています。

- b. **ヴィネット方式に基づいたインタビュー**：教室内での架空のシチュエーションに関するいくつかの質問に答え、コメントいただきます。二回目のインタビューの回答方法は、以下の二つからご選択いただけます。
 - i. **オンライン**：研究従事者と対話する形式となります。インタビュー内容は研究協力者のコメントを記録するために録音されます。
 - ii. **オフライン**：研究協力者のタイミングでご回答いただき、ご自身のコメントとフィードバックを録音いただきます。
- c. **最後のフォローアップインタビュー**：研究従事者と研究協力者両者の質問の受け答えを行い、インタビューの書き起こし内容を確認します。書き起こし詳細の修正、個人を特定できるような情報、または研究協力者自身が削除を希望する内容の消去を行います。インタビュー時間は約一時間を予定しています。

インタビュー時に答えられなかった質問に関しては、インタビュー前後に非公式なやり取りとして対応いたします。

[目次に戻る](#)

4. インタビュー内容の公開について

研究協力者の同意なしにインタビュー内容が公開されることはありません。インタビューは秘匿性を損なわない環境で行われ、録音されたインタビューの書き起こしは匿名化されます（個人を特定できる要素はすべて削除）。匿名化プロセスは研究協力者と共に行われ、これによりデータを辿って個人を特定することが不可能になります。匿名化されたデータは、研究発表後にオープンアクセス化されます。

[目次に戻る](#)

5. 研究協力者の匿名性を守るために

データからの個人特定を防ぐために、研究協力者には偽名が与えられます。偽名は、研究協力者自身で選ぶことも可能です。研究協力者に関するデータは、この偽名を使って保存されます。本研究における研究協力者の身元は研究従事者にのみ明か

され、すべてのデータ収集後、あらゆる個人情報情報は削除されます。これは研究協力者の身元が明かされる可能性のあるすべての情報の消去を意味しており、協力者自身がそのプロセスに関わることも可能です。

エクスター大学では、公共の利益に資する研究を行う研究従事者のために大学で行われている研究活動に関わる個人データを保管しています。研究協力者の個人情報を扱うにあたり、データインフラストラクチャの透明性確保に努めており、その詳細は本インフォメーションシートにてご覧いただけます。同データインフラストラクチャに関して研究チームから納得のいく回答が得られない場合は、大学のデータ保護オフィサーのメールアドレス (informationgovernance@exeter.ac.uk)、または[情報ガバナンス | 情報ガバナンス | エクスター大学](#)までご連絡ください。

[目次に戻る](#)

6. 研究協力者のデータアーカイブとは

UK Data Service (英国データサービス) にデータを無期限に保存することをアーカイブと呼びます。アーカイブは、誰でも閲覧・アクセスできるオープンウェブ上には保管されず、データの管理と保護は、不適切な使用を防ぎ、研究協力者を守る義務を負うアーキビストが行います。データアーカイブは、まず研究協力者からデータアーカイブの同意を得ていること、次にデータから個人が特定できないことを確認した上で行われています。さらにデータが適切な方法でのみ共有されるよう、パブリック・ライセンス、または制限付きライセンスのもと保護されています。

[目次に戻る](#)

7. 研究協力者のデータアーカイブを行う理由

英国一般データ保護規制に沿ってアーカイブを行うのには複数の理由があります。**第一に**、研究協力者のみなさんが大切にしている問題について、その意見や考えをアーカイブとして確実に伝えることができます。**第二に**、ほかの研究従事者がアーカイブにアクセスできるようになることで、研究協力者にご助力いただいた研究内容を用いたり、より研究を深めたりすることが可能になります。綿密なデータを収集するために研究協力者を募りインタビューを行うプロセスは非常に困難かつ時間とリソースを要することから、インタビュー音声の書き起こしへのアクセスは特

に重要となります。研究協力者のデータをアーカイブすることで、ほかの研究従事者によるアクセスが可能になり、そのデータを基に研究を進めることができます。

第三に、アーカイブには歴史的価値があります。人工知能のようなテクノロジーによって言語、通訳翻訳教育、さらには教育法や教育的見解そのものが変革されつつある今、研究協力者のご意見を集約し、データをアーカイブとして保存することで、みなさんの現在の声を将来の教員や言語の専門家の意見と比較検討することが可能になります。**第四**に ESRC SWDTP*からの研究資金援助を受けている本プロジェクトには、この研究を通じて新たなデータをもたらし既存の知見を拡大することが期待されています。**最後**に、本プロジェクトのデータアーカイブ化は公共の利益につながることで、そして研究の更なる発展に貢献することを意味します。

さらに詳しい情報は、次のリンクをご覧ください。（英語のみ）

<https://ukdataservice.ac.uk/app/uploads/participant-information-about-archiving.pdf>

*経済社会研究会議、イングランド南西部博士課程研修パートナーシップ（英語のみ）

<https://www.swdtp.ac.uk/profile/celine-garbutt/>

[目次に戻る](#)

8. 本研究助成について

本研究は ESRC SWDTP の資金援助、およびエクスター大学の後援を受けています。

[目次に戻る](#)

9. 研究従事者について

英国エクスター大学大学院教育学研究科の大学院生です。本研究は、言語教育と通訳翻訳教育が交差する学部教育において、教育や言語学習のプロフェッショナルであるみなさんのご意見を将来の教員養成に反映させることを目的としています。本プロジェクトの研究実施期間の終了は 2027 年末を予定しています。本研究のプロセスに遅れが生じた場合、さらなる遅れを生まずに確実にプロジェクトを完了させるために一部の文書には 2028 年 9 月と記載されています。

[目次に戻る](#)

10. 本研究への参加意義

研究協力者のみなさんのご助力なしには、言語、翻訳、通訳の共通項を持つ学部教育のあり方に関する議論を深めることは極めて困難です。教員や語学のプロフェッショナルと良い実践例を共有することなどを通して、本研究への参加がみなさんにとって有意義な経験になることを願っています。

[目次に戻る](#)

11. 本研究協力者の人数

本プロジェクトは博士過程における研究活動のため、研究従事者は筆者のみの小規模な研究となります。約 24 名の主体的・能動的な協力者を募り、4 名の研究アドバイザーを迎える予定です。

詳細は、本プロジェクト専用ウェブサイトをご覧ください。

<https://sites.exeter.ac.uk/tileblog/>

[目次に戻る](#)

12. 本研究のレビュー協力者

本プロジェクトは、博士号の主指導教員であるガブリエラ・メイエル博士がレビューを行いました。連絡先は以下をご参照ください。

g.s.meier@exeter.ac.uk、エクスター大学 FHASS 社会科学・国際学研究倫理委員会（FHASS Social Sciences and International Studies Ethics Committee Committee at the University of Exeter）（倫理審査申請 ID：8764057）

[目次に戻る](#)

13. 本研究参加に関するご質問やご要望など

本研究に関するご質問やご要望は、研究従事者のメールアドレス（cg559@exeter.ac.uk）までご連絡ください。

苦情やご意見は、エクスター大学の研究倫理・ガバナンスチームまでご連絡いただくか（cgr-reg@exeter.ac.uk）、

アントニー・ウォルシュ博士

エクスター大学コーポレートサービス

研究ガバナンス、倫理、コンプライアンス責任者

アクセス : G14, Lafrowda House, St Germans Road, Exeter, EX4 6TJ

DD: 01392 726621、メールアドレス A.Walsh3@exeter.ac.uk までご連絡ください。

本プロジェクトにご関心をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

[目次に戻る](#)